

大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	73	大学等名	日本赤十字九州国際看護大学
テーマ	テーマV 卒業時における質保証の取組の強化		

【総括評価】

S：計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

【コメント】

<優れている点>

- ・学長直轄の企画情報室と AP 実行委員会が主体となり、学長と実施部隊の課題共有等がスムーズに進む体制のもと、取組は着実に行われている。AP 実行委員会による学内活動は既存の関連委員会と連動し、本大学の「年間計画策定、中間評価、総括評価」に組み込まれる仕組みとなっている。また、アセスメント・システムにより開発中の評価指標を含め、量的、質的評価の双方が可能となっており、今後の「学修成果の見える化」の加速が期待でき、評価できる。
- ・学内独自の指標であるディプロマ・ポリシー (DP) のルーブリックだけでなく、外部テスト (PROG) を取り入れ、リテラシーとコンピテンシーの観点からジェネリックスキルを測定し、学生のキャリア形成・支援や、DP の評価指標として活用していることは大いに評価できる。
- ・授業科目ごとに学生からの授業評価アンケートを実施し、それを基に教員が作成した自己評価を学部長へ提出することで、組織的に授業改善を行っていることは評価できる。
- ・就職先と共同検討している「看護職キャリアパス基礎スケール (仮称)」は、その作成過程において、様々な効果が期待できる。新人看護職員の早期離職が課題になっている看護分野において、看護系人材育成の先駆的なモデルとなりうる取組であり、評価できる。